

Ⅱ. 土 地

4. 本 県 の 位 置

本県は、本州中央部の東端に位し、東西に狭く、南北に長く外海に突出する半島（房総半島）であつて、東及び南は太平洋に面し西は一部東京湾にのぞみ他は江戸川をへだてて東京都及び埼玉県に接し、北は利根川を界して茨城県につらなつている。これを経緯度によつてみれば、東経139度45分より140度52分、北緯34度54分より36度06分に及んでいる。県庁所在地たる千葉市は東経140度07分、北緯35度36分の地点にあり県中央よりやや北に位し、東京湾にのぞんでいる。

極 東	銚子市飯沢鹿島	東 経	140°52' 28''
極 西	館山市州崎	東 経	139 45 22
極 南	安房郡白浜町野島崎	北 緯	34 53 47
極 北	東葛飾郡関宿町大字三軒茶屋稻荷耕地	北 緯	36 05 59

5. 地 勢

房総の中央山間部は土地も高く特に房総の南部には鋸、富、伊予、高塚、愛宕、清澄、鹿野、鬼泪等の高峰峻嶺は数里に亘り相連らなつている。又平久里、三原、加茂、夷隅、小櫃、小糸、湊、一宮、養老等の諸川は、山岳起伏する間を縫い、東京湾及び太平洋に注いで大いに灌漑の便を助け地味は肥沃である。

北総地帯はおおむね平地で西部は一帶に沃田広野が連らなり印旛、手賀、栗山、鹿島等の沼川が散在し、東南は平地の間に多少の丘陵の起伏がみられ、利根、江戸の両河川は東北西の三面を囲み、茨城、埼玉の二県及び東京都との境界をなしている。なお海岸線の長さは352軒余にわたり、房総の海浜は屈曲多く大小の島がその間に点在して天然の景勝に富み、港湾漁場は至る所にみられ、しかも暖流は近海を洗い、魚族の群来が絶えない。